

第2回 府立北摂つばさ高等学校 学校運営協議会 会議録

日 程：令和5年10月30日（月）14：30～16：55

場 所：本校校長室

委員出席（五十音順、敬称略）

今堀洋子委員、長田佳久委員、田中宏和委員、田中正之委員、中島麻衣委員
中山優斗委員

事務局出席者

田中（校長）、坪内（教頭）、高本（事務長）、佐藤（首席）、美濃（首席）

○委員 ●事務局

〈協議事項〉

1. 授業力向上（本日の授業見学）について

- 本校各コースの説明
- 授業力向上のため教員は具体的にどのような力を身に付けようとしているのか。生徒にはどのような力を身に付けて欲しいのか。
- 教員間で授業見学を行い互いの授業を高め、生徒にとって良い授業が行えるよう授業力の向上を目指しています。
- 進路実現に繋がる力。また、生徒が自らの力で学習に取り組むことができる力を身に付けることをめざしています。
- クロームブックを活用した教材作りを進めるため、各教科に ICT 担当を設け教科内で使い方の共有ができるよう取り組んでいます。
- フィールドワークはどのような所に出向いているのか。
- 地域探究の授業で、鶴橋のコリアタウンや難波、大正区の渡し船の乗船体験などを行いました。
- フィールドワークは大切なことだと思いました。体験することや実際に現地を歩いて回ることが大事だと思います。行先で聞き取りなどを行えばさらに良くなると感じました。
- 今後、パワーポイントなどを活用しての発表や現地で聞き取った内容を授業に生かすことができればと思っています。
- 授業中の生徒の姿勢が気になりました。うつむいていたりしたのでもう少し頑張ってもらいたいと思いました。
- 3年生は進路が決まり集中力が切れだす時期ではあります。指導する側としては、生徒が集中できる授業作りに努めております。

- 美術や工芸の授業はイキイキとしていた。大学の授業でも、一方的に講義をするのでなくアクティブラーニングを取り入れており、授業に飽きさせない・眠らせないようにすることが難しい。
- 社会文化コミュニケーションコースの卒業後の進路はどのような状況ですか。
- 生徒の進路には多様性があり、専門学校へ進む生徒も多くいますがその分野も様々であります。
- 北摂つばさ高校の国際交流に長く携わらせていただきました。今年のタイ王国へのスタディーツアーにも同行しました。
タイの生徒が日本の北海道のことを調べて発表しているところを見ることができ大変貴重な体験ができました。今後もスタディーツアーを続けていただきたいと思います。
- アジア文化の発表を授業の最後に行っています。社会貢献を学ぶ前段階として助け合いの心を醸成するととてもよい授業となっています。体験しないと分らないことはたくさんあります。様々な体験をするためにもこれからもアジアとの交流を続けていきたいと思っています。たとえ現地に行けなかったとしてもオンラインなどを活用した交流を続け、つながりを大切にしたいと思っています。
- 自ら課題を見つけ設定する、何のために課題を設定するのか。中学と高校での学びに関連性を見つけてほしい。

2. 各分掌からの進捗状況報告について

- 1年生の欠席数がふえているのはなぜか
- 遅刻欠席の防止に向けては力を入れて指導しています。繰り返し欠席する生徒もいますが、悩みや課題があり登校できない生徒もいます。
- 遅刻欠席をしないよう、生徒自身にいかにか自覚をもたすか難しいと思います。先生の苦労がわかります。
- 2週間ごとに呼び出し指導を行っていますが、遅刻を根本的に減らす効果的な方法を模索しています。
- 身だしなみ指導はどのように行っているか。
- 身だしなみ指導は、全教員で取り組んでいますが、まだまだ行き届いていない部分もあります。そのため生徒との信頼関係を築き継続した指導を大切にしていきたいと考えています。
- 生徒理解に基づき丁寧に生徒を見ていただいている。
- 学校の環境整備がとても大事であると認識しています。情緒・感情のコントロールを苦手とする生徒を丁寧に支えていきたいと思っています。
- 合理的配慮はどのようにしているのか。
- 人的環境整備は難しいこともありますが。入学後のミスマッチが生じないように努めています。

- 出来ないことが多くある状態から、出来ることを増やしていく指導をしています。
- 配慮の必要な生徒の情報共有はどのように行っているのか。
- 全職員を集め会議の場で行っています。
- SC、SSWを積極的に活用し生徒に対応して欲しい。
- SC、SSWに掛かる生徒が増えています。学校や家庭との連携をこれまで以上に密に行い話を進めています。

3. その他校長が必要と認める事項について

特にありません。

4. 授業とその他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議に関する事項について

特にありません。

5. 閉会

- 2011 年から継続している東日本大震災復興支援活動が本校の教育活動に多大なる影響をもたらしたことを評価され、時事通信社主催「第 38 回教育奨励賞」で優良賞を受賞しました。今後も社会貢献活動を主とした全校生徒を巻き込んだ教育活動を行ってまいります。引き続き、よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。